

若手社員の 負担を軽減

ホールに広がる奨学金返済支援制度

若手社員の奨学金返済を支援するホール企業が增えている。
社会人としてのスタートの時期にのし掛かる負担を
すこしでも軽減しようという目的で、

新入社員らの定着にも効果がありそうだ。

文科省によると、大学生らの約4割が奨学金を受けているが、
就職してから返済に苦しむ人達も多いという。

新たに給付型の奨学金制度も設けられてきており、

遊技業界の返済軽減策は時代の流れに沿ったものと言える。

現場で働く若手社員に聞いた。



入口

日置さん



プレイランドキャッスル 大曽根店

「本当にいいのかな」

名古屋市の「プレイランドキャッスル大曽根店」(月岡英晃店長)で働く日置貴之さん(29)は、奨学金返済支援制度導入の話を聞いた時、こう思ったという。まさかという驚きとそこまで会社にお世話になっていいのかなという気持ちが入り交じったものだった。

ここは真城ホールディングス(真城貴仁社長、本社・名古屋市)傘下の大型店。パチンコ768台、スロット440台を設置、従業員は50人(アルバイトを含む)に上る。肩書きはストアチーフ。お客さんの対応などホール業務、従業員やアルバイトの指導、賞品発注や陳列など多様な業務のほか、ホームページの作成や広告も手がける。多忙を極める立場である。

東京から新幹線、中央本線乗り継いでJR大曽根駅まで2時間余。徒歩で約10分、温泉施設と一緒にあった大きな建物が目に入る。昨年末、現地を訪れた。

返済は負担に

「なかなか

貯金出来ない」

奨学金をどのくらい借りていた

のか。

「毎月3万円をもらっていました」。愛知工業大学で学んだ4年間の総計は144万円。

「卒業する時、これを抱えていくのだと実感しました」。学生時代は学費のほか、学校

が遠かったため定期代が高額で、やりくりは厳しかった。ハンバーガー店、ショップピングセンター、飲食店とアルバイト3つを掛け持ちし、月13万14万円を稼いだ。授業が終わってから夜9時まで、次のアルバイトで同11時までなど「必死で働きました」と言う。だから奨学金はと

ても有難かった。2012年に同社に入るが、当時「何か、重いものを背負わされているような気がしました」。必要に迫られて致し方ないものだったが、「負債」を抱えての社会人スタートはやはり苦痛だったようだ。社員寮に入り、初めての一人暮らし。家事、炊事を行い、車のローンも抱えた。パチンコはやったことがなかった。パチンコはやったことがなかった。その中で毎月1万円の返済はこたえた。

1年半後に結婚し、現在1歳1

か月の長男がいる。「扶養手当が付きましたが、なかなか貯金は出来なくて」。

そうした状況下、会社の新制度が登場した。

支援制度

30歳までの社員を対象

真城ホールディングス

同社の「奨学金返済の支援制度」は昨春導入された。

対象者は、満30歳までの返済義務のある新卒・中途採用社員、既存の社員で、奨学金返済分の一部をそれぞれの社員の上限を決めて手当として支給する。支援期間は新卒で最長5年などとなっている。

日置さんは新制度開始とともに申請、その手当を受けている。何に使うのか聞くと、「子どものおもちゃですね」。そして「制度が」もつと早ければ長期間受けられたんですが」と笑った。対象年齢ギリギリだったからだ。将来の夢は「店舗長になることです」と言い、「お客様とのコミュニケーションを大切にしてい

◀禁煙コーナー



通路は広い

日置さん



カウンターに景品が並び

ことを常に考えているという。手当を子どものために使えるなら、仕事の意欲も増すに違いない。同社のホームページには鳥を背景に

した笑顔の写真と「接客の基本である笑顔を大切に、スタッフの手本となるよう努力しています」の言葉が載せられている。



徳留さん

プレイランドキャッスル 熱田店

徳留美里さん(25)の場合、返済額は「400万円」に上る。「プレイランドキャッスル熱田店」(久野栄之マネジャー)のカウンターリーダーを勤める。10人の女性スタッフの育成、指導をはじめ、賞品の配置などを指揮する立場である。パチンコ960台、スロット646台を置く、これも大型店。店名で分かるように熱田神宮のある地域に位置する。「きつい物言いが苦手なので、根気よく教えるようにしています」と話す。

ケラケラと笑い、ともかく明るい。卒業時、「(たまった返済額を)見た瞬間、びっくりして『どうしよう』と思いました」という。毎月1万7000円返しても「20年もかかるんです」。

何に遭ったのか。

名古屋外国語大学では、「学園祭実行委」というサークルの活動に打ち込んだ。イベントの企画、アーティストとの出演交渉、司会などに飛び回った。1〜3年生の時、は派遣のアルバイトをやった。スーパーの食品売場で、「いかがですか」と楊枝に差した商品を差し出し、お客さんに味見を進めたりした。学費や教材を含め「月20万か

「30万遣いました」。学生証がクレジットになったいて、学生食堂や学内のコンビニで使えた。半期ごとの支払いなので、つい使い過ぎる。「親不孝カードと呼ばれていました」と笑った。

成人式まではお母さんに髪を切ってもらい、服もあまり買わず、節約に努めていたが、それでも負債が溜まったという。

有難い支援制度 職場は輝くステージ

2015年に入社して生活は変わった。会社の補助があるワンルームに住み、家賃や携帯代などにかかるようになった。だから返済支援制度にはビックリし、驚き、「有難いな！」と思ったという。友達と旅行に行くようになった。静岡に出掛け、パラグライダーで飛んだり、東京、大阪などにも足を伸ばしたりしている。バイトの子を連れてカラオケに行くこともある。月々とボーナス時で返済額に変動するが、やり繰りは楽になる。

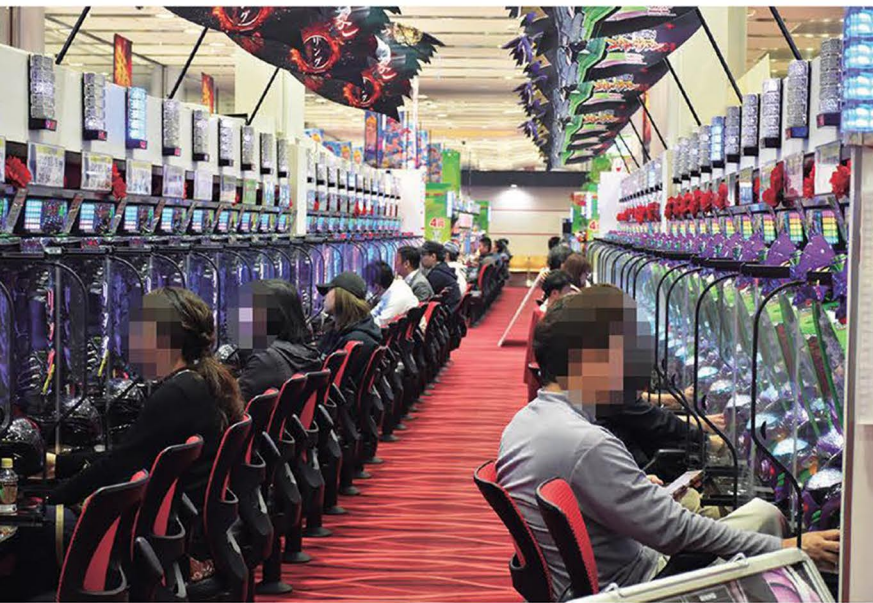
夢を聞くと「結婚したいです」の言葉がすぐ返って来た。ベージュのブレザーにカラフルなスカーフ。

カウンターでは笑顔を決やさず、常連さん達の人気も高い。職場を「自分を輝かせてくれるステージだと思って」働いている。支援制度はその活力を生み出す原動力のひとつになっているようだ。

2人とも家庭の事情などから苦勞して学校に通ったが、共通するのは明るさ。そして学生時代にパチンコをやった経験がないこと。

入社してから用語やルールなどを勉強し、現在の地位を掴んでいる。導入の目的について同社は、
①優秀な人材の採用確保
②若手社員の金銭的負担を軽減し、長期雇用を促進する
③返済制度の利用で自身の将来設計を明確にし、仕事に打ち込めるようにする——を挙げている。

現在12人が支援を受けているというが、若手社員の意欲を向上させる役割を果たしているのは間違いないようにみえた。



◀ホール内



中央通路

入口に立つ徳留さん



カウンター



若手社員の負担を軽減

真城ホールディングスの広報資料

HIRO
活きるカ!



2017年4月29日

株式会社 真城ホールディングス

支援制度を導入

制度を下記の通り導入致しました。

につなげるとともに、若手社員の金銭的な
します。

を明確に持ち、向上心を持って仕事に

員および既存社員に対し、返済支援の為、

社員に適応

連絡先：広報課

<http://www.p-castle.jp>

スルエース
プロス

MASHIRO

正社員採用情報



MASHIRO
正社員採用情報

本採用
採用
メッセージ
大公開
事、私のやりがい
スケジュール

◀ ホームページの求人案内

奨学金返済支援制度

募集職種 大学卒
仕事内容 パチンコホール(管理職候補)
勤務地 プレイランドキャッスル上社店、尾頭橋店、熱田店、ワンダー店、知多店、天白、記念橋店、ベガ
勤務時 (1) 8:00~17:00
(2) 16:00~25:00(店舗により相違)シフト制
休日休 月8日(年間休暇105日)+GW休暇、夏季休暇、冬季休暇
初任給 基本給 円
特別手当 円
合計 円(研修期間中 円)
諸手当 特別 円
賞与 年2回 皆勤、住宅、家族、通勤、各種保険(健康、厚生年金、雇用、労災)
福利厚 社員旅行、社員寮、財形貯蓄、退職金制度(勤続4年以上)、産前産後休暇、育児休暇、育児時短
出書 制度、介護休暇、慶弔見舞金、誕生月プレゼント制度
面接、筆記
名古屋市中区葵3丁目 採用担当
TEL 052- 奨学金返済支援制度